

## ヨーロッパ人との出会いと全国統一

本単元で育成する資質・能力

対話力・課題解決力・学びを振り返る力

1 日時

2 学年

3 場所

4 単元名

第4章近世の日本 第1節ヨーロッパ人との出会いと全国統一

学習材名

「ヨーロッパ人との出会い」(東京書籍 新しい社会 歴史)

5 本単元を指導するにあたって

## (1) 単元観

本単元は、中学校学習指導要領(平成29年告示)解説社会編歴史的分野における内容項目「(1) 私たちと歴史 ア(イ)「資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表などにまとめたりするなどの技能を身に付ける」イ(ア)「時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりなどに着目」を受けて設定したものである。

本単元に関しては、「キリスト教世界の動きに伴って、鉄砲やキリスト教が伝来して南蛮貿易が盛んになり、日本の社会に影響を及ぼしたこと」を取り扱い、日本とヨーロッパ諸国の接触がおこったことや、日本の政治や文化に与えた影響などを考察し、「近世社会の基礎がつけられたこと」を理解することをねらいとしている。そのため、本単元では、ヨーロッパ諸国との交易が始まり、日本の社会や文化にも大きな影響を与えたということについて生徒が考察し、事実・概念を獲得することができる単元である。

## (2) 生徒観

### (3) 指導観

本単元では、南蛮文化を象徴する代表的な作品を取り上げ、ヨーロッパ諸国との接触により国内にどのような影響を与えたかまとめ、表現できるように指導していきたい。また、タブレットを活用して絵画の中から特徴を見つけ、比較させることで、生徒の思考を深めさせる。また、インターネットを活用し、生徒の興味・関心を促す調べ学習も展開していきたい。

本時では、「南蛮人渡来図屏風」「南蛮風の風俗画」を取り上げ、ヨーロッパから日本に入ってきたものをタブレットを活用し見つけさせ、鉄砲とキリスト教に焦点を当て、日本にどのような影響があったか、自分の意見と他者の意見を比較したり、自分の考えを振り返る場面を設定したりして、思考力、表現力、対話力を高めていきたい。

## 6 単元の見目標

- (1) 織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係について理解できる。
- (2) ヨーロッパ人との交易により、日本の社会、文化にどのような影響を与えたか考えることができる。

## 7 単元の評価規準

ア 社会的事象についての関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断・表現	ウ 資料活用の技能	エ 社会的事象についての知識・理解
①ルネサンスや宗教改革などヨーロッパ世界について関心を高め、当時の生活を想像しながら意欲的に学習に取り組もうとしている。 ②桃山文化の特色について、話し合いや意見交流などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	①ヨーロッパの世界進出がアメリカ大陸やアフリカ大陸にどのような影響を及ぼしたか説明している。 ②鉄砲とキリスト教伝来、南蛮貿易が日本の社会に及ぼした影響について、考察し、説明している。 ③信長の経済政策が商業の発達にそのような影響を与えたか考察している。	①歴史地図を活用しスペイン・ポルトガルの世界進出や世界の一体化を読み取ることができている。 ②「南蛮人渡来図屏風」などに描かれたものを読み取り、南蛮貿易やキリスト教の広がりや理解に活用している。 ③朝鮮侵略の過程とその影響を資料から読み取っている。	①信長と秀吉による統一事業の過程やその政策のあらましを理解し、その知識を身に付けている。 ②ヨーロッパ人の来航によって生まれた新しい文化について理解し、その知識を身に付けている。

## 8 この単元の学習を通して伸ばしたい資質・能力

- ①課題解決力  
資料を比較しながら特徴をとらえ、時代の特色についてまとめることができる。
- ②対話力(質問力・説明力)  
自分の考えをペアや班で比較し、自分の考えを深めることができる。
- ③学びを振り返る力  
学習課題とこれまでの学習内容を関連付けて、時代の特色について理解することができる。

## 9 指導及び評価の計画(全6時間)

次	学習内容(時数)	評 価					
		関	思	技	知	評価規準(評価方法)	資質・能力(評価方法)
1	キリスト教世界とルネサンス(1)	◎				ア①(ワークシート)	①課題解決能力(ワークシート)

2	ヨーロッパと外の世界(1)		◎			イ① ウ① (発表の様子)	②対話力 (発表の様子)
3 (本時)	ヨーロッパ人との出会い(1)		◎			イ② ウ② (ワークシート)	②対話力 (行動観察) ③学びを振り返る力 (ワークシート)
	A	ヨーロッパ諸国との交易により、日本社会にどのような影響があったか、図版から読み取り、正しく説明することができる。					
	B	ヨーロッパ諸国との交易により、日本社会にどのような影響があったか、考察している。					
	C	Bに達しない。					
4	織田信長・豊臣秀吉による統一事業(1)				◎	エ① イ③ (ノート)	③学びを振り返る力 (ノート)
5	兵農分離と朝鮮侵略(1)			◎		ウ③ エ① (ノート)	②対話力 (行動観察)
6	桃山文化(1)	◎				ア② エ② (ワークシート)	③学びを振り返る力 (ワークシート)

## 10 本時の展開

### (1) 本時の目標

ヨーロッパ諸国との交易により、日本にもたらしたものについて、図版から読み取り、鉄砲やキリスト教が、日本の社会に広まった様子を捉える。

### (2) 観点別評価規準

- 鉄砲とキリスト教伝来、南蛮貿易が日本の社会に及ぼした影響について、考察し、説明している。  
(イ ② 社会的な思考・判断・表現)
- 「南蛮人渡来図屏風」などに描かれたものを読み取り、南蛮貿易やキリスト教の広がりへの理解に活用している。  
(ウ ② 資料活用の技能)

### (3) 準備物

電子黒板、タブレット、ワークシート

### (4) 学習の展開

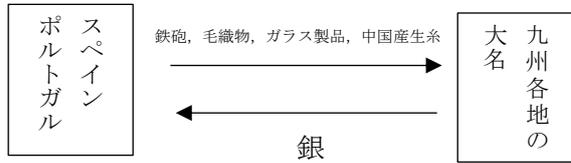
	学習内容(活動)	主な発問・指示(○) 予想される生徒の反応(☆) 「C」と判断される生徒への手だて(★) 指導上の留意点(●)	評価規準(◇) 資質・能力 (◆) (評価方法)
導入	1 「チキン南蛮」「南蛮漬け」の写真を見せる。	○二つの写真の名前は何だろう。 ☆チキン南蛮、南蛮漬け ○二つの写真の共通点は何だろう。 ☆南蛮という言葉がついている。 ●電子黒板に2つの写真を提示し、生徒のイメージを明確にする。	

展 開	2 本時の目標をつかむ。	●本時の目標を記入させる。	
	ヨーロッパ人との出会いが日本の社会にどんな影響を与えたか説明できるようになる。		
	3 南蛮貿易についてまとめる。	○「南蛮人渡来図屏風」「南蛮風の風俗画」を見てどんなものが日本に入ってきたか見つける。 (タブレット) ☆ひだえりがついた人物, 洋犬, トラの毛皮 ●タブレットで画像を見て, 印をつけるよう指示を出す。 ★一つも探すことができなければ, 場所を指定するなどヒントを出す。 (個人思考→ペア学習→全体共有) ○南蛮貿易の輸出・輸入品をまとめる。	◇「南蛮人渡来図屏風」などに描かれたものを読み取り, 南蛮貿易や基督教の広がりや基督教の理解に活用している ウ②資料活用(タブレット)
4 鉄砲の伝来と基督教が日本に与えた影響について考える。	○「南蛮人渡来図屏風」「南蛮風の風俗画」以外で他に持ち込まれたものはないだろうか。 ☆鉄砲, 基督教, 学問  ○「鉄砲」「基督教」のグループに分かれて, それぞれ日本にどのような影響を与えたかまとめよう。(個人思考→班活動→全体共有) 個人思考…ワークシート 班活動…タブレット 全体共有…タブレット  ●インターネットの使い方について確認しておく。 ●一つの視点だけでなく, いろんな視点で考えるよう伝える。	◆②対話力 ◇鉄砲と基督教伝来, 南蛮貿易が日本の社会に及ぼした影響について, 考察し, 説明している。 イ②社会的な思考・判断・表現(行動観察)	
5 ヨーロッパ人との出会いが日本の社会にどんな影響を与えたかまとめる。	○ヨーロッパ人との出会いが日本の社会にどんな影響を与えたか「鉄砲」「基督教」の二つの内容をまとめてみよう。 ★授業の中で, 「鉄砲」「基督教」のことについて触れたところを指示する。	◆②対話力 ◇鉄砲と基督教伝来, 南蛮貿易が日本の社会に及ぼした影響について, 考察し, 説明している。 イ②社会的な思考・判断・表現(行動観察)	
鉄砲…国内での生産も始まり, 戦国大名が戦いで武器として使用するようになった。 基督教…民衆の生活にも広まり, 基督教信者が増加した。			
まとめ	6 本時の振り返りを記入	○発表させ, クラス全体で振り返りを共有する。 ●鉄砲と基督教の広まりを織田, 豊臣はどう思っていたか次の学習につなげるようにする。	◆③学びを振り返る力 (ワークシート)

## 1 1 板書計画

本時の目標 ヨーロッパ人との出会いが日本の社会にどんな影響を与えたか説明できるようになる。

### 1 ①南蛮貿易



### 2 まとめ

鉄砲…国内での生産も始まり，戦国大名が戦いで武器として使用するようになった。  
キリスト教…民衆の生活にも広まり，キリスト教信者が増加した。